

松本市における 部活動地域移行の現状と方向性

松本市
松本市教育委員会

松本市における部活動地域移行の現状と方向性

1 部活動の地域移行において大切にしたいこと

【新たな地域クラブ活動】

生徒が生涯にわたってスポーツ・文化芸術に親しむ機会を確保し、生徒の心身の健全育成等を図るためだけでなく、地域住民にとってもより良い地域スポーツ・文化芸術環境を目指し、地域のスポーツ・文化芸術団体、学校等の関係者の理解と協力の下、生徒の活動の場として、地域クラブ活動を行う環境を速やかに整備する

「長野県中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針」より

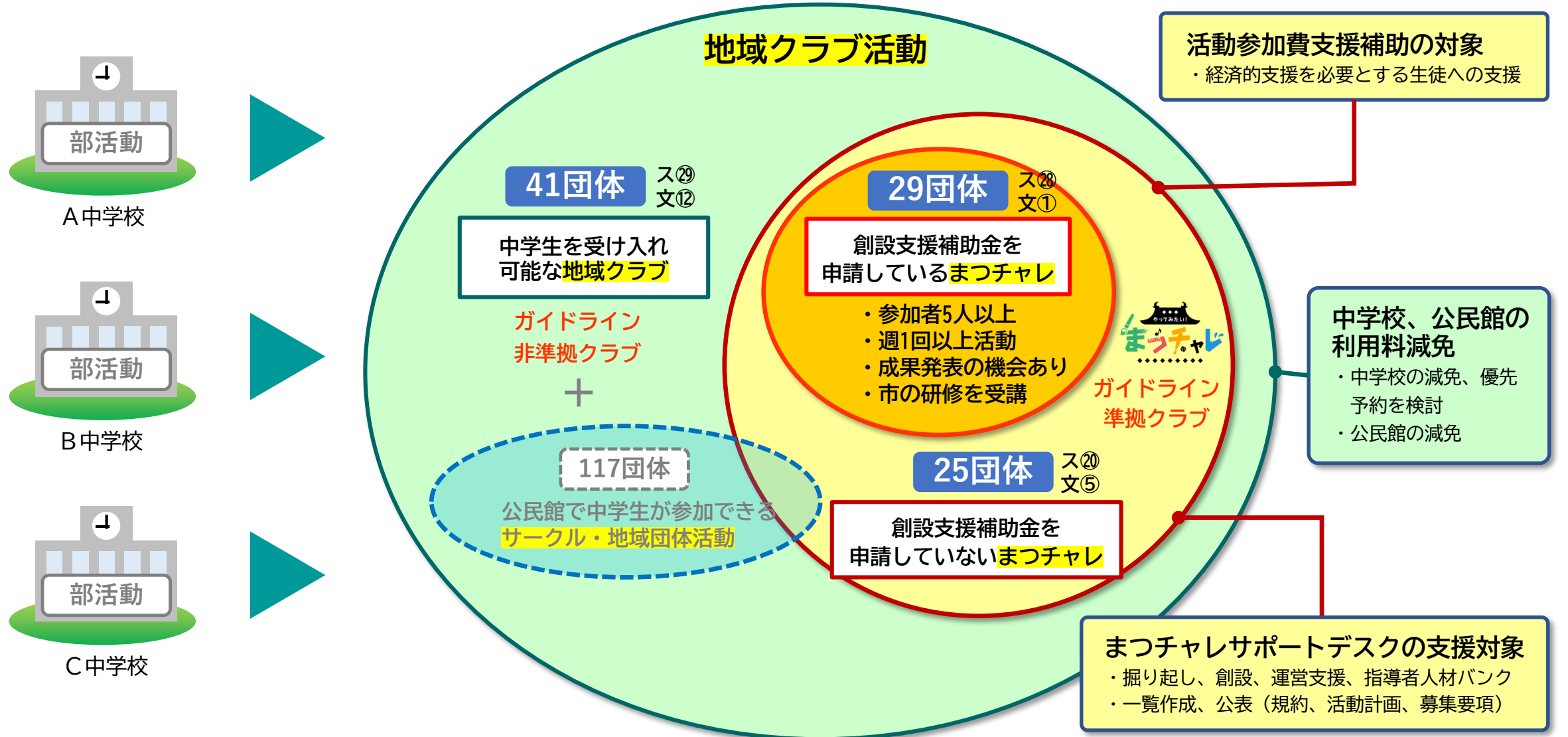
地域クラブ活動に求められるもの

- ① 自己の状況に応じて、体力や技能、表現力、想像力等を育成できる
- ② 自分の興味のある活動に主体的に取り組むことができ、上達することで達成感を味わいながら自己肯定感を高められる
- ③ 他者との関わりの中で仲間づくりや社会性・協調性を育むことができる

「長野県地域クラブ活動推進ガイドライン」より

松本市における部活動地域移行の現状と方向性

2 松本市における部活動地域展開の全体像



松本市における部活動地域移行の現状と方向性

3 基本方針と目指す姿

基本方針

- (1) 国は令和8年度から「改革推進期間」を「改革実行期間」へと移行し、令和13年度までに休日の地域展開の完了を見据えている。本市においては、移行のゴールが不明確な状況が生徒に混乱を生じさせ、地域クラブの創設にも影響を与えることから、令和6年2月に策定した「松本市部活動地域移行推進計画」に基づいて、令和7年度までに休日の、令和8年度までに平日の地域移行を完了することを目指す。
※ただし、文化芸術活動のうち吹奏楽については、学校備品である楽器の取扱いや修繕費、新規購入費、校内のセキュリティ体制等、多くの課題が見られることから、地域移行後においても、引き続き検討を進めるものとする。
- (2) 受益者負担と公的負担の適切なバランスを図りつつ、財源の多様化および経済的支援を講じることにより、地域クラブの安定的な定着を図るものとする。

目指す姿

- ① 少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実すること
- ② 学校単位で行われてきた部活動を、学校も含めた地域全体で支え合いながら、部活動の教育的意義を継承・発展させ、生徒に多様で豊かな活動機会と新たな価値を創出すること
- ③ 生徒のみならず、地域住民にとってもより良いスポーツ・文化芸術の環境整備をし、スポーツ・文化芸術による「まちづくり」を推進すること

松本市における部活動地域移行の現状と方向性

4 これまでの進捗

地域移行に関する広報

まつチャレサポートデスク



まつチャレに関するよくある質問(FAQ)

INFORMATION

- 2023年3月28日 まつチャレサポートデスク コールセンター終了のお知らせ
- 2023年1月30日 松本市教育委員会「スポーツ・文化活動推進部」の案内
- 2023年1月30日 「部活動の地域移行でまちに活力を」掲載のお知らせ
- 2024年12月12日 中学校部活動の地域移行、の取組報告を掲載します
- 2024年12月12日 県立松山高等学校の取組報告
- 2024年9月30日 部活動サイトを公開しました。

まつチャレサポートデスクとは

国のガイドラインや部活動地域移行推進計画など、松本市としての取り組みをご確認ください。

学校部活動及び地域クラブ活動の
移行に関する総合窓口の役割

松本市教育委員会事務局

松本市教育委員会事務局

松本市教育委員会事務局

松本市ホームページへのリンクまつチャレ（まつと子どもたちを繋げるまつチャレ）について

松本市ホームページ

まつチャレ通信（毎月発行）

「部活動の地域移行に関する取組をお知らせします」

2023年7月号

まつチャレ通信

「部活動の地域移行に関する取組をお知らせします」

2023年8月号

まつチャレ通信

「部活動の地域移行に関する取組をお知らせします」

2023年9月号

まつチャレ通信

「部活動の地域移行に関する取組をお知らせします」

2023年10月号

まつチャレ通信

「部活動の地域移行に関する取組をお知らせします」

2023年11月号

まつチャレ通信

「部活動の地域移行に関する取組をお知らせします」

2023年12月号

まつチャレ通信

松本市教育委員会note

キーワードやクリエイターで検索

松本市教育委員会公式note

「学都」松本の特徴ある教育の実践や、学びのようす、子どもたちや先生の姿などを発信します！...もっとみる

2 フォロー 23 フォロワー

設定

ホーム マガジン 記事 月別 プロフィール

2つの学校に通える「松本デュアルスクール」

松本デュアルスクール 小中学校 校...

松本市教育委員会公式note 「みんなミラ」はじまりました。

教育長通信#5 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

部活動の地域移行とは？

松本市ホームページ

部活動の地域移行

部活動の地域移行

重要なお知らせ

2023年9月4日更新
部活動の地域移行に関する取組

2023年9月25日更新
部活動の地域移行に関する取組

2023年12月12日更新
部活動の地域移行に関する取組

2023年12月12日更新
部活動の地域移行に関する取組

2023年12月12日更新
部活動の地域移行に関する取組

2023年12月12日更新
部活動の地域移行に関する取組

松本のシンカ【松本市公式チャンネル】

どうなる!? 送迎や会費は？ 前編

部活動の地域移行

なぜ地域移行？

どうなる!? 種目の多様化 後編

部活動の地域移行

目指す姿

地域のつながり

移行スケジュール

松本市における部活動地域移行の現状と方向性

5-1 現状分析

令和6年度 部活動の地域クラブ活動への移行に係るアンケート調査結果

- ① 小学5・6年生
地域クラブ活動に望むこととして「楽しむことを大切にしてほしい」、「いじめなどがないようにしてほしい」、「自分なりのペースで進めていくことを尊重してほしい」と回答した割合が高い。
- ② 中学1・2年生
地域クラブ活動への加入に伴う心配として「どのくらいの費用（月謝）が掛かるか」、「指導者の指導方法が、厳しすぎたり、高圧的・威圧的など、適切なものでない可能性があること」、「家から活動場所まで通うこと（徒歩、自転車、車での送迎）ができるか」、「新しい仲間と関係を築くことができるか」と回答した割合が高い。
- ③ 保護者
地域クラブ活動への移行に伴って月謝が必要となる場合の許容できる金額は、小学5・6年生保護者においては平均約5,210円、中学生保護者においては平均約4,518円
- ④ 中学校教員
移行後の「休日」における地域クラブ活動の指導希望については、77.3%の教員が「希望しない」「どちらかといえば希望しない」と回答。また、大会審判員等の運営者として協力することの可否についても、71.0%が「協力できない」「できれば協力したくない」と回答している。さらに、令和8年度以降の「平日」における指導については、81.6%の教員が「希望しない」「どちらかといえば希望しない」と回答

松本市における部活動地域移行の現状と方向性

5-2 現状分析

部活動加入率の変遷

	中学生	加入者数		非加入者数	社会体育活動等に参加
平成30年度	5,858人	4,626人 (79%)	運動	3,468人	717人 (14%)
			文化	1,158人	
令和6年度	5,645人	3,799人 (67%)	運動	2,807人	605人 (12%)
			文化	992人	

- ① 市全体で見ると、**おおむね中学生の約7割～8割が部活動に参加**しています。
- ② 一方で、家庭の事情や興味関心の不一致などから、**残りの2割～3割の生徒は部活動に所属していませんでした。**
- ③ 部活動の地域移行が進められる前の平成30年度と令和6年度を比較すると、これまでも学校単位での活動では**「やりたい活動」に参加できていない生徒が一定数存在していた**ことが分かります。

松本市における部活動地域移行の現状と方向性

5-3 現状分析

エリア別まつチャレ設置状況（令和7年10月時点）

◎は同一エリアに地域クラブが2団体以上、○は1団体、×は0団体を表す。×の数で、設置状況をレベル（A・B・C）別に分類
特定のエリアでは活動種目に偏りが見られるため、今後はエリアごとにバランスよくクラブ団体の設立を促す必要があります。

エリア	A 北部 会田中・女鳥羽中 旭町中・丸ノ内中	C 中央 鎌田中・松島中 高綱中	C 東部 清水中・山辺中 開成中	B 南部 明善中・筑摩野中 信明中・菅野中	A+ 西部 波田中・梓川中 安曇中・奈川中・大野川中
サッカー	◎	◎	○	◎	◎
軟式野球	○	○	◎	◎	○（予定）
バスケ	◎	◎	◎	◎	◎
バレー（×：2）	×	◎	×	◎	○
ソフトテニス（×：3）	○	×	×	×	◎
卓球	◎	○	○	◎	◎
バドミントン	◎	—	◎	—	○
陸上競技（×：2）	◎	×	×	◎	○
剣道	◎	◎	◎	○	◎
吹奏楽	◎（予定）	◎（予定）	◎（予定）	◎（予定）	◎（予定）
合唱	○	○（予定）	○	○（予定）	○

松本市における部活動地域移行の現状と方向性

5-4 現状分析

平日の地域クラブ（まつチャレ）活動時間

種目	チーム	曜日	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30
陸上	松本TFC	火水										
ラグビー	シャルマン・ラグビー	水金										
バレーボール	VC MAST	月金										
	VC WEST	月水金										
	VC松南VIVACE	月火										
バドミントン	チーム六等星	火										
	まつもと城東	水										
	山鳩	月金										
	すどう塾	水										
バスケットボール	S.B.C.	月火水金										
	SYP	月金										
	Always	水										
	Nove	水金										
	KITE	月水金										
	Red Phoenix	火金										
	DBX NEXT田川	月										
	DBX NEXT筑摩	金										
	DBX NEXT開智	木										
	Up Rookies	金										
	Black Jokers	火金										
軟式野球	鎌田少年	月火水金										
	松本セントラル	火水金										
卓球	あづみ野ジュニア	水										
	LINKS	水										
サッカー	すまいる	月水金										
	鎌田FC	月火水金										
	FC SURGE	月木										
	EYL FC	火水木										
	梓川FC JY	水										
	FC Matsumoto Central	火水金										
	MEIZEN FC	火水金										
クライミング	FCシュロス松本	月水金										
	エッジ・アンド・ソファージュニアクライミングクラブ	木										
ボクシング	松本ACEボクシングジム	月金										
ウェイトリフティング	長野トレーニングクラブ	水										
剣道	梓川少年剣道教室	水										
合唱	なないち剣道相親会	水金										
オーケストラ	波田合唱クラブ	水										
麻雀	まつもとジュニア室内楽団	金										
	ニューロン子供麻雀教室 松本	火木										

19時まで活動している団体は16団体、19時以降に活動している団体は26団体、平日に活動していない団体は12団体

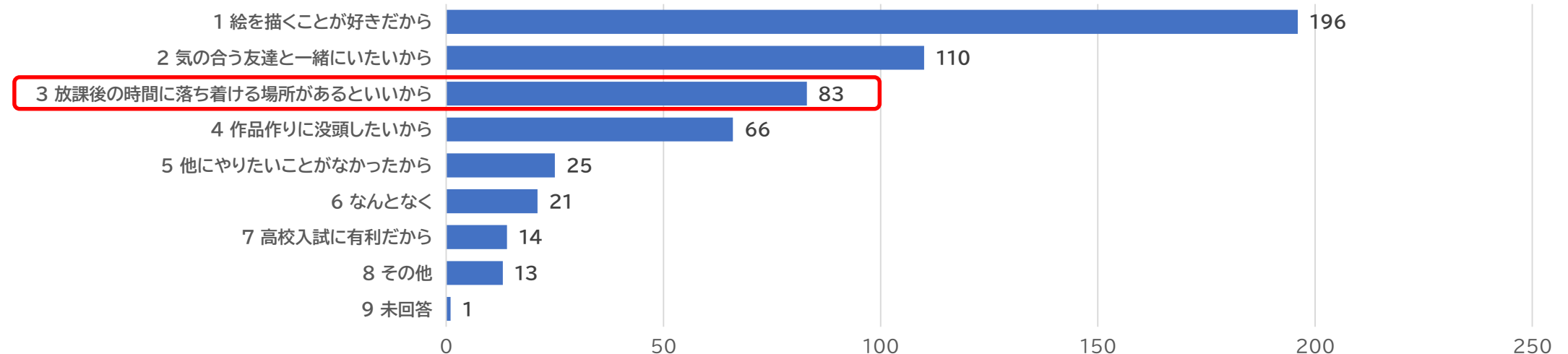
松本市における部活動地域移行の現状と方向性

5-5 現状分析

美術部員に対するアンケート調査（令和7年9月実施）

令和7年度 美術部加入部員数 **483名**（全ての部活動において2番目の加入数）

Q あなたが美術部を選んだ理由について教えてください。



Q 美術部で好きな時間、楽しいと感じるのはどんなときですか？

- ・学校に行きたくないときでも、美術部があるから行こうと思えた。美術部は**自分の居場所だ**。
- ・色塗りで光や影がうまく表現できたときや、技術を向上させるために**考えながら制作している**とき。
- ・部員全員でステージバックに取り組んだり、**おしゃべりしながら好きな絵を描く**時が楽しい

生徒たちは美術活動を通じて「自分の居場所」や「自由に創作できる時間」を大切にしていることが判明

松本市における部活動地域移行の現状と方向性

6-1 今後の方向性 <放課後の居場所づくり>

放課後時間の新たな活用

→ 各学校の状況に応じて検討、判断

- 松本市では、**地域クラブ活動の整備**とあわせて、**学校の放課後時間の活用**にも新たな方向を示していきます。
- 各学校には今後、**放課後時間の在り方を検討**してもらい、必要に応じて**先生の勤務時間内で**、生徒たちが主体的に活動できる時間を設定します。

<放課後時間活用の一例>

- ・ 実施日：週2回程度
- ・ 活動時間：放課後の約1時間
- ・ 費用：無料（参加費なし）
- ・ 内容：生徒が自ら企画し、やりたい活動を自由に実行（例：美術、読書、軽運動、清掃活動、防災、けん玉、動画作成など）
- この取組みは、**地域クラブ活動とは別の柱**として位置づけ、生徒一人ひとりが「**自分で考え、動く力**」を育てることをねらいとしています。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
5 時間目				
6 時間目		帰りの会	6 時間目	
帰りの会	清掃	職員会	帰りの会	清掃
15:45	放課後活動	・ 専門委員会等	放課後活動	帰りの会
16:45				

松本市における部活動地域移行の現状と方向性

6-2 今後の方向性 <送迎>

自転車の活用を推進

→ 自転車専用道路の整備、定期的に各学校で交通安全教室を実施

- <現 状> ● これまで、学校外のクラブ活動への参加は、一旦自宅に戻ってから自転車で移動するか、保護者の送迎が中心でした。しかし、部活動の地域移行に伴い、移動手段や送迎の負担に関する懸念の声が寄せられています。
- <方向性> ● 一部の自治体では、地域移行に伴い送迎用のバスやタクシーの運行を実施した例もありますが、本市では、活動場所が広域で活動時間も多様であることから、現時点で公的な送迎支援等は困難と考え、自転車の利用を推進します。
- <対 策> ● 自転車通学の要件は学校ごとに異なるため、最終的には学校の判断に委ねるものとしませんが、安全確保や責任分担の課題があることから、一定の条件を設けて運用を開始します。
- スポーツ安全保険や自転車保険への加入を義務付けます。
 - 各校で、自転車の乗り方教室や、地元自転車業者による自転車の整備点検等を実施します。

1 当面の主な課題

- ① 多様な活動を担保するため、市内すべてのエリアにおける地域クラブ創出の在り方
- ② まつチャレへの登録要件の設定の在り方
- ③ 活動の財政支援の内容と支援する範囲及び財源の確保
- ④ 学校施設の優先予約の在り方
- ⑤ 平日指導者の確保